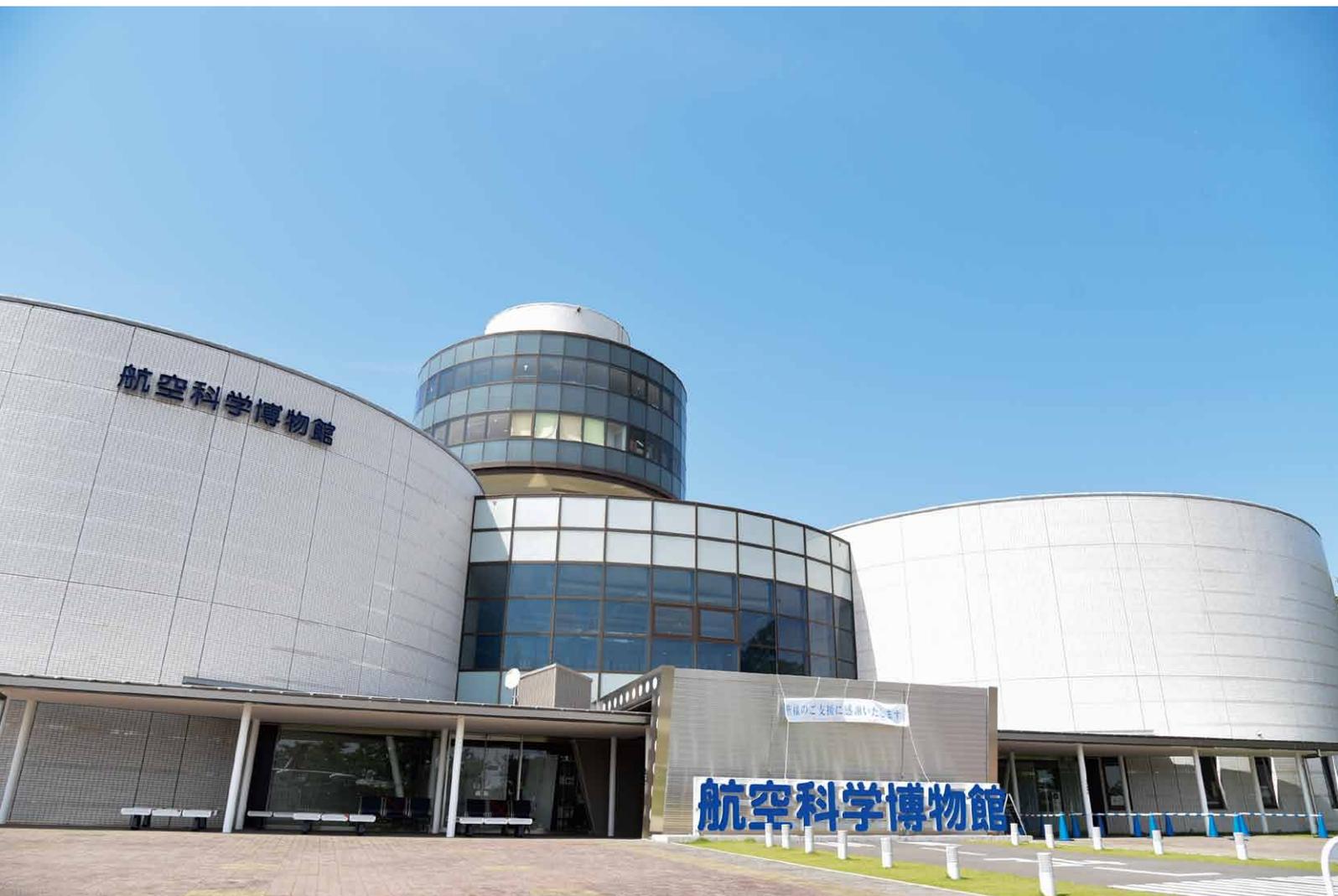


臨時休館で存続の危機 ——

航空ファンの支援で苦境を乗り越える

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館の影響により、施設の存続が危ぶまれる状況になってしまったものの、クラウドファンディング(※)で支援を募り営業再開を果たした航空科学博物館。お客様に安心して楽しんでもらうための感染防止策やスタッフの心境などを取材しました。



※クラウドファンディング…インターネット上で実現したい目的や事業計画を公表し、それに協賛して資金を寄付してくれる人を募集する取り組みのこと。

座席の間引き

ソーシャルディスタンスを保つため、機内の展示内や休憩スペースに設置してある座席の間引き対策を取っています。



消毒液の設置

各所に設置されている消毒液は機内で使用するカートの上に置くなど、来館者の方楽しんでもらえるような工夫が凝らしてあります。



体験・展示の休止

3密の可能性が考えられる体験や展示は運用を休止しています。また、来館者が直接触れる箇所は定期的に拭き取り消毒を行っています。

— クラウドファンディングを始めた背景

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から臨時休館し、一度営業を再開しましたが、国から出された緊急事態宣言に従い、4月9日より再び当面の間臨時休館となりました。

この影響により入館者数は9割減少し、入館料に加え売店やレストランの収入もほぼ0になってしまいました。このままでは博物館が存続できなくなってしまうという危機的状況を何とか乗り切りたいと考え、手探りの状態でクラウドファンディングを始めることとなりました。

— スタッフにインタビュー

お客様への安心・安全を第一に考え、受付と売店には飛沫感染防止のためのビニールカーテンを取り付け、入口にはお客様の検温をスピーディーに行えるようサーモカメラを

設置するなど、スタッフ一丸となって再開準備を進めていました。

休館中、いつ営業を再開できるのか全く分からない状況が続き不安な気持ちになりましたが、多くの方々からクラウドファンディングのサイトやツイッターを通じて「頑張ってください」「ぜひ協力させてください」「などの温かいメッセージをいただいたり、直接お電話をいただいたことがとても励みになりました。

また、展示物のメンテナンスを行う様子などを撮影した動画を公式ツイッターで公開し、休館中にも博物館を身近に感じていただけるといった工夫をしたほか、展示場の草刈りなどの整備作業を行いました。

— 協力者への思い

5月26日によっと営業を再開できた時は、喜びとご支援いただいた方々への感謝の気持ちでいっぱいでした。クラウドファンディングを始める前は、目標金額に到達するの

Interview

さえ確証が持てませんでしたが、5月13日に開始してから3日で目標を達成できただけでなく、今現在もたくさんのご支援をいただいております、改めて多くの航空ファンに愛され、支えられている博物館だということを確認しました。

今後は、これまで以上に身を引き締めて、皆さまに楽しんでいただけるような博物館にしていきたいと思っています。

— 来館者にインタビュー

テレビでクラウドファンディングのニュースを見て、営業再開したら来たいと思っていました。

まだ完全に新型コロナウイルスが収束していませんので、出掛けるのに少し不安な気持ちもありましたが、施設のさまざまな場所で徹底した感染対策が施されているので安心して楽しめました。休止している体験が全部再開したらまた来たいです。

現在の支援状況

(6月22日時点)

支援総額

19,006,860円

支援者数

2,425人

募集終了日

令和2年7月31日

※資金は博物館の運営資金や展示物・建物の修繕費用として活用されます。

リターンの紹介

- ▶ 有効期限のない招待券
- ▶ 航空科学博物館オリジナルグッズ
- ▶ 友の会会員証 (年間パスポート)
- ▶ 博物館売店限定商品券
- ▶ フライトシミュレーター 1時間貸し切り



基本情報

- ▶ 営業時間
午前10時～午後5時
(最終入館午後4時30分)
- ▶ 休館日
月曜日(祝日の場合は翌日)
- ▶ 問合せ
☎78-0557

具体的な感染対策



サーモカメラによる検温

来館者の安全確保のため、入館前に検温を実施しています。その他にも、手指の消毒や連絡先の記入を行っています。

